

職域接種に関する Q&A（令和3年6月10日版）

◆ 1. 対象

Q1-1. 職域接種の対象を教えてください。

A. 自社の従業員の他に、従業員の家族や関連企業なども対象にさせていただいてかまいません。

Q1-2. 日本国内に居住し、住民基本台帳に登録されている外国人労働者は、接種の対象になりますか？

A. 新型コロナワクチンの接種は、住民基本台帳に登録されている方が対象となります。

Q1-3. 接種券が届いていない人も接種できますか？

A. 接種券を受け取っていない方も職域接種の対象です。接種券が届いていない方の場合、予診票に記載した住所・氏名・生年月日等を本人確認書類により確認し、予診票は後日被接種者が接種券を持参するまで企業・接種医療機関等において保管してください。

◆ 2. 接種会場

Q2-1. ワクチンやフリーザーはどこに届きますか？

A. 申請フォームに記入していただいた接種会場に配送いたします。

Q2-2. 接種会場レイアウトの事前チェックやアドバイスはありますか。模擬訓練は行っていただけますか？

A. レイアウトの事前チェック等は行っておりません。また、接種のリハーサル、動線確認等は企業側で行ってください。

◆ 3. 医療従事者について

Q3-1. 接種に必要な医師や看護師などの人員は、企業側で確保しないといけませんか？

A. 接種に必要な医師や看護師などの人員は企業で確保してください。

Q3-2. 接種担当の医師について、人数の指定や制限はありますか？

A. 医師について、人数や専門性、勤務年数等の制限はありません。接種方法や会場の数、開設時間の設定により必要な医師数や期間が異なることから、実情に合わせて必要な医療従事者数を算定してください。

◆ 4. 申請

Q4-1. 1会場あたりの接種人数に制限はありますか？

A. 1,000人以上×2回の規模の接種を前提に受付を行っております。1,000人未満の企業の場合は、商工会議所等による取りまとめや複数社による連携等により、1,000人×2回の接種体制をご検討ください。

Q4-2. 申請は企業がするのですか。それとも医療機関がしますか？

A. 企業が行うことを想定しております。

Q4-3. 申請はどこで行いますか？

A. 下記 URL にて申請を受け付けております。

専用 WEB 入力フォーム：<https://ova.gbiz.go.jp/>

Q4-4. 申請はオンラインのみですか？

A. オンラインのみです。

Q4-5. 申請後、実際にワクチンが配布されるのはいつぐらいですか？

A. 申請を受理してから、概ね2～3週間を要することを想定しております。しかし、受付当初は申請が多く見込まれるため、さらに期間を要する場合があります。

Q4-6. 国が複数企業同士の連携をサポートすることはありますか？

A. 国においてそのような個別の支援は行っておりません。

◆ 5. 費用

Q5-1. 国が接種にかかる費用を負担するのですか？

A. 新型コロナワクチンの接種に係る費用は、全国統一の単価とし、接種1回目、接種2回目とも共通の2,070円（税込2,277円）としています。会場等の費用は企業負担となっております。

◆ 6. ワクチン

Q6-1. ワクチンの解凍方法、解凍時間を教えてください。

A. モデルナ社ワクチンの解凍方法は、①冷蔵庫(2~8℃)で2時間半静置、②常温(12-25℃)で1時間静置の2種類です。

◆ 7. 副反応

Q7-1. 副反応の対応に必要な医療機器、薬剤等は支給されるのでしょうか？

A. 企業で用意する必要があります。薬剤購入等に関しては予め医療機関等と協議の上、物品や薬剤の準備を行うとともに、常時対応が可能となるよう、救急処置用品について適切な管理を行ってください。

◆ 8. その他

Q8-1. 会場に届いたワクチンを各事業所等に配布しても大丈夫ですか？

A. 保管・トレーサビリティの観点から、会場に届いたワクチンを別の場所に移動させることはできません。

Q8-2. 医療廃棄物はどのように処理すればよいですか？

A. 接種を行った医療機関において、通常の医療廃棄物と同様に処理されることを想定しております。